



危険物安全週間の活動内容について

東京消防庁 志村消防署

1 はじめに

東京消防庁では、都民に対する身近な危険物の安全な取扱いに関する知識の普及啓発を行うとともに、各事業所における自主保安体制の確立を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を図ることを目的に危険物安全週間を実施しました。

2 危険物安全週間推進用ポスターを活用した広報について

「つい! うっかり! 知らなかった!」をキーワードとした危険物安全週間推進用ポスターにより、広く都民の皆さんに、家庭や職場で身近に使われている危険物の取扱いや保管、廃棄など、危険物を扱う各シーンにおける危険性について注意を喚起し、危険物に関係する事故の防止を呼びかけました。

3 危険物消防演習について

危険物安全週間を前に令和5年5月29日(月)、印刷インキメーカーのDICグラフィックス株式会社東京工場(板橋区坂下三丁目35番58号)において、災害発生時の対応能力の向上並びに事業所等と消防隊の連携活動能力の向上を目的として消防演習を実施しました。

想定は、都心南部を震源とした首都直下地震により屋外貯蔵所において危険物が流出、けが人が発生したことにより、自衛消防隊が危険物流出防止活動と応急救護活動を行い、さらに、危険物倉庫で火災が発生し、自衛消防隊の通報を受けて出場した消防隊、消防団と連携して消火活動を実施するもので、活動中に再び発生した地震により、倒壊危険のある建物から消防隊の緊急脱出も行われました。

訓練内容は、自衛消防隊が危険物流出時の対応やけが人に対する応急救護活動を行うとともに、可搬ポンプによる初期消火を、消防隊は耐熱服を着装し消火活動にあたり、隊員が近づけない場所には屈折放水塔車により高所から放水し消火活動を行うなど実践的なものでした。

この演習には、ハイパーレスキュー隊を含む消防隊、志村消防団、DICグラフィックス株式会社東京工場自衛消防隊など消防車両など12台、隊員185名が参加し最後は危険物施設への一斉放水で演習を締めくくりました。

なお、本演習には志村消防署管内の危険物施設の関係者が数多く見学に参加し、災害発生時の対応要領について熱心に確認をしていました。



令和5年度東京消防庁 危険物安全週間ポスター



D I Cグラフィックス自衛消防隊による応急救護活動・危険物流出対応・消火活動（可搬ポンプ）



消防隊は耐熱服を着装し消火活動を実施



志村消防団による消火活動



倒壊危険のある建物から救助隊が緊急脱出



危険物施設への一斉放水